

国文学科創設一〇〇周年記念特別講演会

日本人なのに日本語がわからない、日本人だから日本語がわからない

特別ゲスト 古今亭文菊師匠



■古今亭文菊師匠プロフィール

1979年生れ。2002年、古今亭團菊に入門。翌3年、前座、菊六となる。08年、落語一番勝負若手落語家グランプリ、09年、NHK 新人演芸大賞。2012年、先輩28人を抜いて真打昇進、古今亭文菊と改名。同年、浅草芸能大賞新人賞。15年、第70回文化庁芸術祭賞大衆芸能部門優秀賞。

日時：2019年10月6日(日)
13時～15時30分

場所：実践女子大学
創立120周年記念館403教室
※16時より9F 食堂で懇親会

講演①

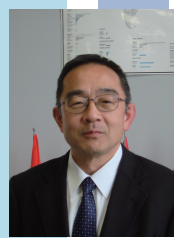
山内博之（実践女子大学国文学科教授）

講演②

ルカーシュ・ブルナ（実践女子大学国文学科准教授）

特別講演＋落語

古今亭文菊 師匠



山内博之教授



ルカーシュ・ブルナ 准教授

いきなりですが、質問です。「蔓延る」「貶める」「肯ずる」。これらの読み方がわかりますか？えっ、わからない？これらの読み方は、日本人でも難しいですね。

では、次の質問です。「将来」と「未来」はどう違いますか？えっ、ほとんど同じだって？いえいえ、そんなことはありません。「将来、落語家になりたい」とは言えますが、「未来、落語家になりたい」とは言えません。

日本人なのに日本語がわからないのか、それとも、日本人だから日本語がわからないのか……。国文学科創設100周年を記念する本特別講演会では、落語家の古今亭文菊師匠をお招きし、日本語の魅力と不思議について考えていきます。文菊師匠の落語とお話を、どうぞお楽しみください！

共催 実践女子大学文学部国文学科・短期大学部日本語コミュニケーション学科・実践国文科会／後援 一般社団法人教育文化振興実践協会

お問い合わせ 実践協会 (03-3407-7459)・実践女子大学文学部国文学科研究室 (03-6450-6857)